

令和元年第16回公安委員会会議録

日時	6月6日(木曜日)	自午後1時30分 至午後3時50分	場所	公安委員会室
会議	公安委員	高木委員長 原委員 山本委員 小野委員 下山委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 定例会議

1 若手警察官3年目キャリアアップ研修の開催について

(1) 研修の趣旨

採用時教養修了後3年を経過した警察官は、若手警察官の一番身近な指導者となり、若手警察官に与える影響力が強くとともに第一線の中心となって活躍を期待される立場となる。

そこで、採用時教養修了から3年目を迎える地域課(係)員に対し、集中的に教養を実施して現場執行力の強化を図るとともに、指導員としての自覚を促し、指導力を身につけさせることを目的としている。

(2) 実施回数

1年間を通じて4回(四半期ごとに1回)、週休日又は日勤日に、警察本部に招致して実施

※ 第1回は、5月23日(木)、30日(木)及び31日(金)に実施

(3) 実施対象者

初任科第304長期(平成27年春採用)

初任科第305短期(平成28年春採用)

(4) 研修内容

職務倫理教養、伝承教養、実戦的総合訓練、総合術科訓練、書類作成要領等を複合的に実施

研修生の取得状況に検証を加えながら、第2回目以降の研修を構成する。

(5) その他の新たな若手警察職員育成施策

ア 伝承教養講座

イ 若手警察職員指導日誌の試行実施

ウ 若手一般職員合宿研修「小楠塾」の開催

【委員からの質問等】

委員から「警察は人材育成に力を入れており、絶えず研修を受けながらキャリアアップしていくことは非常に良いと思っているが、いつまで研修があるのか」旨の発言があり、警察から「年齢ではなく、階級が上がる際は任用科があり、部

門別には専科がある」旨の説明があった。

さらに委員から「3年目になると、慣れからいろいろな問題が出てくると思う。3年間で経験した課題を共有し、その対処方法等を研修に加えることにより、若手の育成に力を入れてもらいたい」旨の発言があり、警察から「今回は問題点を共有し自らが考える時間も確保し研修を行う予定である」旨の発言があった。

2 滋賀県大津市における園児が被害となる交通死傷事故発生を受けた県警の取組みについて

(1) 発生状況

ア 日時

令和元年5月8日（水）午前10時10分頃

イ 場所

滋賀県大津市大萱^{おおがや}6丁目 県道交差点

ウ 被疑者

普通乗用自動車運転の52歳女性

軽四輪乗用自動車運転の62歳女性

エ 事案の概要

交差点における右折車（普乗）対直進車（軽乗）の衝突事故で、軽四輪乗用自動車が、信号待ちをしていた園児の列（園児13人、保育士3人が救急搬送）に突っ込み、園児2人が死亡、その他14人が負傷したものの

(2) 発生を受けた県警の取組み

ア 緊急道路点検の実施

過去5年間で子供が当事者となった交差点での重傷事故の発生現場を抽出し、交通環境が当該交通事故の要因（遠因）であるもの、または、仮に何らかの安全施設等の設置があれば被害が軽減された可能性がある交差点について、道路管理者や学校関係者、さらに、必要に応じて幼稚園等の職員を含めた合同の緊急道路点検を早急に実施するように指示

イ 今後の予定

8月上旬までに点検結果を取りまとめ、道路管理者と連携して改善措置を図る

(3) その他の交通事故防止対策

ア 交通安全教育及び交通安全意識啓発

イ 通学路等における交通指導取締り

ウ 通学路等における交通安全施設等整備

エ 各種ボランティア活動の活性化

【委員からの質問等】

委員から「道路の点検で危険指数が高い箇所があるのか」旨の発言があり、警察から「重傷事故以上の発生現場を抽出し点検した結果、危険指数が高い箇所が増える見込みである」旨の説明があった。

第2 報告・決裁等

1 令和元年第15回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

2 審査請求(令和元年No.3)受理の報告

公安委員会事務室から説明があり、報告が行われた。

3 苦情(令和元年No.2)受理の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。